

KANAGAWA



一般社団法人 神奈川県建築士事務所協会

URL <http://www.j-kana.or.jp/>

E-mail info@j-kana.or.jp

2013 年
10 月号

VOL.384



オフィシャルウェブサイト (会員ページ) 情報

○会報KANAGAWAをフルカラーにて
掲載中

○会員ページへは会員番号でログイン
してください



目 次

①② 建物探訪

③④ 支部だより(鎌倉支部)

⑤⑥ 支部だより(湘南三浦支部)

表4 事務局便り
編集後記

建築探訪

松本の歴史的建造物に触れる旅 (旧開智学校・旧司祭館・旧制松本高等学校)

横浜支部 梅原建築設計事務所
梅原 義信

去年の暮れ、横浜山手西洋館めぐりのガイドのお手伝いをした際、現代建築の原点とも言うべき明治、大正の洋館は何度見ても新たな発見があり、興味深いという思いが芽生えました。そんな中、今年の6月に長野県の松本へ旅行する機会があり、現地の歴史的建造物である旧開智学校、旧司祭館、旧松本高等学校を訪れました。

「旧開智学校」は、地元出身であり東京で西洋建築を学んだ大工棟梁の立石清重が設計し、明治6年に開校した旧制小学校で、木造2階建て、寄棟造、棧瓦葺きの代表的な擬洋風建築として昭和36年に国の重要文化財に指定され現在は、明治時代の教育の資料を展示した博物館になっています。

1



旧開智学校外観

外観は正面中央に入口を設け、ほぼ左右対称をなしています。入口のバルコニーは雲や竜の細かな彫刻がほどこされ、その上の八角形の塔屋が象徴的です。外壁は漆喰塗で、縁取られた建具を浮き彫らせ、建物のシンメトリーを強調したものとなっています。内部は廊下、階段、教室ともに天井が高く、置かれた木製の机、椅子はかつて座ったことがあるような馴染み深いものでした。また、内部建具は外部建具と統一されたデザインとなっています。



時代を感じさせる木製の机と椅子



天井の高い廊下

「旧司祭館」は、松本カトリック教会のクレマン神父が設計し、明治22年に宣教師の住宅として建てられた長野県に現存する最古の西洋館で、長野県宝に指定されています。



旧司祭館外観

外観は下見板張りのアーリーアメリカン風様式で、上下左右と整然と並んだ鎧戸が印象的です。屋根は寄棟、棧瓦葺きで暖炉の煙突があります。内部は高い天井、サンルーム（名称はペランダとなっています）、上げ下げ窓、各部屋には暖炉と明治の洋館住宅の原型と思えるものでした。



サンルームを兼ねたペランダ



暖炉は各部屋に備えられている

「旧制松本高等学校」は、大正8年に開校し、昭和25年から昭和28年までは信州大学の文理学部、人文学部の校舎として使用されていた木造洋風建築で、平成19年に国の重要文化財に指定されています。



旧制松本高等学校本館外観

入口は、旧開智学校のようなシンメトリーの中央に位置してはならず、隅入りで機能的となっています。これは「旧制高等学校」の自己の可能性を自由に広げようとした精神の現われのようにも感じました。しかし、それとは対照的に屋根、窓の配置、換気用小塔からは学校建築としての威厳が感じられます。

内部は一部の教室や校長室が復元されており、パネル解説により当時の様子が分かるようになっています。



パネルによる解説がされている



窓が整然と並んだ廊下

ご紹介した3つの歴史的建造物は松本駅から近く、公園や博物館などと隣接しているため、気軽に散策を楽しめるかと思います。

【ミニコラム】「松本は“まる博”？」

紹介した歴史的建造物のほかに自然や産業といった多くの財産を持つ松本は、街全体が屋根のないまるごと博物館と考えられているそう。

支部だより

鎌倉支部MK邸設計提案競技を顧みて

審査委員長 鎌倉支部 (有) 建都 福田 亮一

去年の秋の鎌人（かまんど）市場でのことでした。支部の催しものとしてのまな板の販売は早々に完売し、箸造りもそろそろ終盤の頃…私は不謹慎にも、湘南の浜風に包まれ缶ビールを飲んでいました。その時1人のサーファー風の若い男性が私の前に立ち、こう告げたのでした。

「俺、建築が好きで自分のいい家を鎌倉の環境や生活を理解してくれる建築士さんと造りたいんです。相談に乗ってもらえませんか？」

内心、少し驚きました。しかし、一瞬の間を置かずには私はこう切り出しました。

「いいですよ。私は立場上相談を受けることができないけれど、うちの支部会員は全員優秀です。その会員を対象としたコンペの形を取らせてもらえるならば相談に応じますよ。ただし、2つの条件があります。コンペ費用を用意することと、家庭訪問を受けることは可能ですか？」

すると彼は…

「本当ですか？嬉しいですよ！是非お願いします！」と即答したのです。あまりの決断の速さに私は思いました、この男性はただのサーファーではない、と…かくして支部としては初の試みとなる「鎌倉支部MK邸設計提案競技」が誕生しました。

M氏の快諾を得て、事務局と審査委員会発足、提案募集開始…とコンペは進行していくのですが、詳しい内容については9月号掲載の梅澤支部長の記事をお読みください。今回は、2次選考からの事をお伝えします。

2次選考へは、青木氏、板垣氏、宇賀氏、大沢氏、棚橋氏の5名が進みました。いずれのプランも甲乙つけがたく、施主そして選考審査員（福田、梅澤、中村、鈴木）の苦悩が始まりました。5名のプレゼンテーションが終わっても、なかなか決まらず1週間後に投票で選出することとなり

ました。

投票で施主のM氏は大沢氏を選んだのですが、選考審査員の4名は棚橋氏を選んでいました。結果を受け、選考審査員に任せたいとM氏から申し出があり、最優秀賞及びM邸の設計者は棚橋氏に決定することになりました。棚橋氏の設計提案は、少々荒削りな面もありましたが空間システム、構造システム、機能性を合致させた高い芸術性、そしてこれまでにない新鮮さがあり私達4人の審査員の心を驚つかみにしたのでした。後日、M邸設計提案協議第2次選考各提案についての考察は5名にそれぞれ書面をもってお伝えしました。

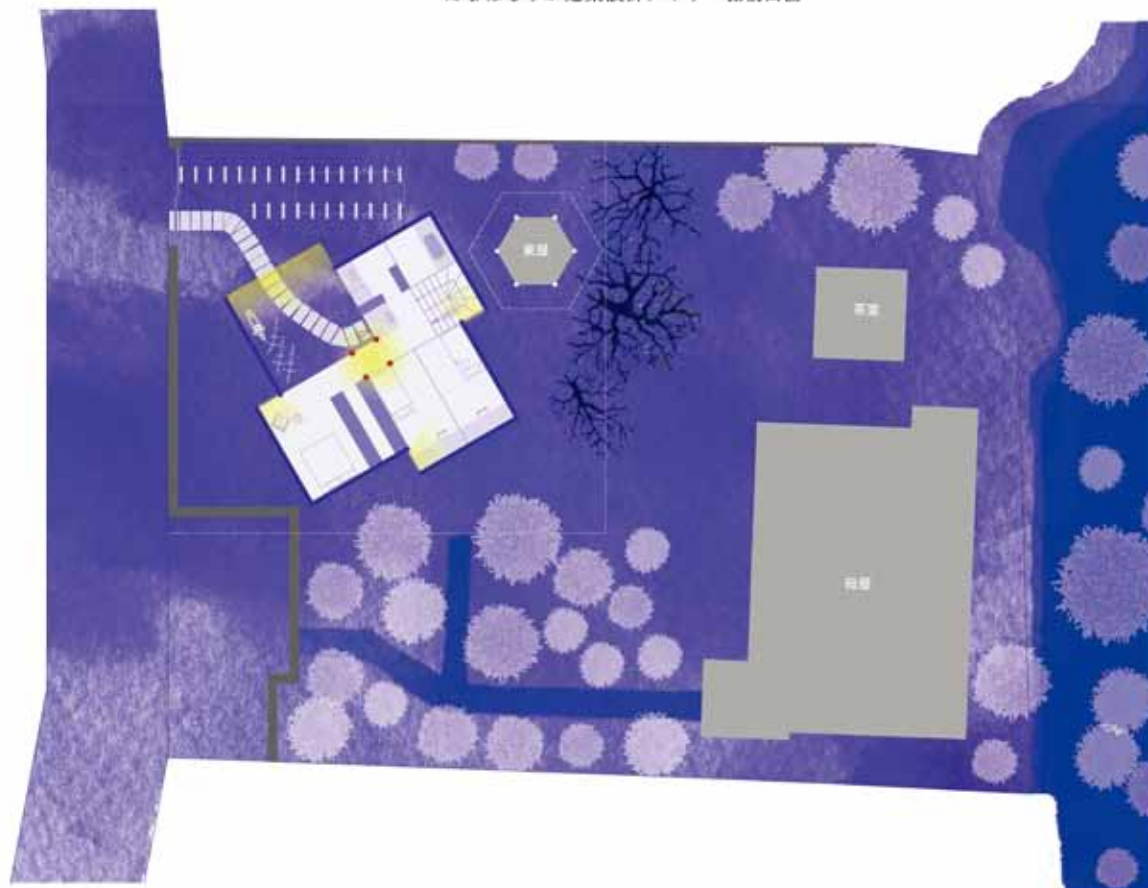
さて、このコンペを通じていくつかの嬉しい出来事がありました。まず、現地調査の時にコンペ参加者が協力し合って行っていて、特に板垣氏が自らの現調図を他の参加者に参考として配布なさっていたのが印象的でした。また、コンペが終了し、棚橋氏が選出された時「おめでとう」と電話やメールを入れた参加者があったとのこと。仲間同士の思いやりにとっても感動して言葉ありませんでした。今回、コンペに参加してくれた12名の支部会員は私たち選考審査員の誇りです。心から叫びたい…ありがとう！

最後になりますが、忙しい中コンペの審査員として協力していただいた、梅澤氏、中村氏、鈴木氏、誠にありがとうございます。中でも梅澤氏におかれましては審査の基準となる採点表を作成する等、多大な協力があり感謝しています。

（追伸…9月10日、施主M氏と設計者棚橋氏の建築設計・監理業務委託契約が梅澤支部長、及び私の立合いのもとで行われました。）

最優秀賞

たなはしゆか建築設計アトリエ 棚橋由佳



4

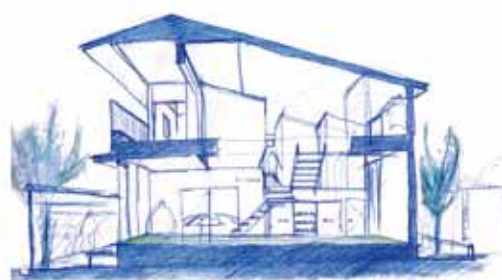
優秀賞

(有) O設計室 大沢 匠



優秀賞

板垣貴之建築設計事務所 板垣 貴之



支部だより

応急仮設住宅プロトタイプ建設について

湘南三浦支部

株式会社REAL 1級建築士事務所 磯 昭弘

昨年度、神事協主催の応急仮設住宅の提案コンペで当支部会員が構成員となっている湘南三浦建築設計協会として最優秀賞を受賞し、その提案を地元の業界団体や自治体関係者に発表したところ、ぜひ実現して欲しいという意見が寄せられ、特に防災プログラムの中にある「住民参加で建設できる」というアイデアが高く評価されたこともあり、私たちの提案した仮設住宅が実際に建設可能かを検証するために実寸大のプロトタイプを建設してみることにしました。

図面や模型で何度も工法や建設順序をシミュレーションした結果、今回はプロトタイプという事もあり1辺2.73m(4.5畳)としています。これは標準サイズとしている9坪タイプの1/4で、このグリッドパターンを組み合わせることで様々な入居者のニーズに対応できると考えています。材料は一般に流通している105×105を基準にした在来軸組材ですが枠組工法材でも応用ができます。これは実際の有事の際に材料の調達が困難になった場合でも臨機応変に対応できるように想定しています。

実物を見ると単純な仕口で構成していることがわかります。建築のプロから見ればこの程度の納まりなの？と思われる方もいるでしょう。しかし「仮設住宅という性質上、構造的な安全性が確保出来れば特別なスキルがなくても建設できることが重要ではないか。」との結論から複雑な仕口などは採用していません。また、地域イベントなどでの展示・解体・運搬が容易であることも視野に入れています。

【プロトタイプ製作 第1回目】

7月下旬の猛暑の中、メンバー所有の敷地を借りて第1回目の建設シミュレーションを行ない、限られた時間でどこまで立ち上がるか、組み立て順序をどのように進めるかを検証しました。

敷地をある程度整地し、通常は杭を打ち込みますが、今回は住宅で使う鋼製束を大引に固定してベースとなる8畳程のデッキ下地を作りました。そこに上家の地墨を出し、あらかじめ製作しておいた柱と梁を立ち上げていきます。細かい納まりなどは現場にパソコンを持ち込んで寸法を決め、

施工担当メンバーがそれに従って加工をしながら組立作業を進めました。

朝から5時間程で整地から小屋組までが終了しましたが、部材の加工と納まりの検証をしながら行っているため、実際の施工時間は施工技能者1名+大人3名・部材加工済みとして、躯体と野地板まで約3時間あれば建設可能と思われます。実際に建設することで見えてきた修正ポイントも何点ありましたので次回の課題としました。

【プロトタイプ製作 第2回目】

第2回目の建設シミュレーションは8月中旬に行い、前回の検証で判明した予備知識のない人が建設するために部材の種類を少なくすること、小屋組作業を単純化することでの安全性の確保などの修正点を改善することと屋根・開口部などをイベント展示用にアレンジすることを主題としました。

部材の加工作業がなかったこともあり、一般住民が建設作業を行う事を想定して小屋組までの組立作業は、日頃設計業務を専業としているメンバーのみで行ったところ、施工経験者が作業した場合とあまり変わらない時間で小屋組まで完成しました。この結果から、部材加工を施工経験者(大工経験者)、組立作業は他のメンバーという作業分担が可能ではないかと考えています。安全性については施工方法をマニュアル化して各工程での安全確保について記載し、安全認識の共有化を考えていますが、今後も検証を続けて行く事が重要ではないかと思っています。建設シミュレーションを繰り返すことで作業効率や安全性についてオリジナルの仮設住宅からさらに進化した地域に合った仮設住宅が誕生することもあるかもしれません。

第3回目の検証は、イベント展示用にアレンジする事を含めた最終調整を予定していましたが、残念ながら台風のために中止となってしまいました。しかし、修正点はまだありますので、イベント展示に向けてできる限りのことをしようと考えています。(次号では、イベント出展の様子もお伝えします!)



①大引きは鋼製束で支持されていて、その上にデッキ材の24mm合板を貼りデッキスペースとし、柱を建てます。柱は、105×105mm角としています。



④野地板まで完成しました。
9坪タイプは、このモデルの4倍の大きさになります。



②柱にボルトで挟み梁を固定します。
挟み梁を採用することで部材の重量を抑えています。



⑤棟と桁以外の母屋は挟み梁ではありません。



③間柱を支部長が取り付けしています。
作業を行いながらも、いいアイデアがあれば変更を加えています。



⑥プロトタイプは、この躯体に展示用のパネルを取り付けます。
外部は、樹脂パネルで仕上げて完成となります。

会員異動報告	
入会	
横浜支部	
一級建築士事務所株式会社宇田川建築設計事務所 〒231-0015 横浜市中区尾上町6-68-1 関内マークビル4階 TEL.045-226-4588 FAX.045-226-4589	佐藤 和昭
鎌倉支部	
石上建築構造設計 〒249-0003 逗子市池子3-2-15 TEL.045-871-1052 FAX.045-871-1052	石上 保
退会	
横浜支部	
株式会社ベンハウス一級建築士事務所 株式会社ワイ・シー企画一級建築士事務所	荻間 勉 小野寺恒夫
茅ヶ崎寒川支部	
株式会社オーカワ一級建築士事務所	大川 信乃
厚木支部	
岩田ハウジング株式会社一級建築士事務所	岩田 光司
変更	
横浜支部	
東匠技術株式会社一級建築士事務所 (FAX変更) FAX.045-350-2740	
川崎支部	
株式会社富士電機一級建築士事務所 (事務所名・指定代表者変更) 株式会社富士一級建築士事務所 石井 民夫	
※ 8月号掲載の座間支部株式会社リフレ神奈川二級建築士事務所様の情報に誤りがございました。訂正の上、お詫び申し上げます。	
座間支部	
株式会社リフレ神奈川二級建築士事務所 (正) 座間市緑ヶ丘5-2-8 (誤) 座間市緑ヶ丘2-8	
賛助会異動報告	
退会	
NPO法人湘南マンション管理組合ネットワーク	

【お知らせ】…新体制により、誌面構成の見直しを行っております。

本誌掲載記事の内容は執筆者本人の見解において記述・掲載をしております。事務協としての見解ではございませんのでご了承下さい。

会 勢		平成25年10月1日現在				
支部名	平成25年3月末日	現在	入会者	退会者	増減	
横 浜	251	251	9	9	0	
川 崎	101	106	7	2	5	
横 須 賀	54	51	0	3	-3	
湘 南 三 浦	18	18	2	2	0	
藤 沢	25	24	1	2	-1	
鎌 倉	39	38	1	2	-1	
茅ヶ崎寒川	19	18	0	1	-1	
平 塚	23	23	1	1	0	
秦 野	18	18	0	0	0	
伊 勢 原	8	8	0	0	0	
大和綾瀬	21	20	0	1	-1	
厚 木	35	34	0	1	-1	
座 間	12	12	0	0	0	
海 老 名	15	15	0	0	0	
愛 川	8	8	0	0	0	
相 模 原	82	81	1	2	-1	
県 西	48	49	1	0	1	
合 計	777	774	23	26	-3	
賛助会員	79	78	4	3	1	

※退会報告等の状況により会員数は常に変動しております。

10月の行事予定	
10月1日	「住・緑・家」運営専門委員会
2日	イラストレーター研修会 会場:東部総合職業技術校
3日	総財務委員会
4日	広報情報委員会
7日	業務支援委員会
8日	企画委員会
9日	指導委員会 イラストレーター研修会 会場:東部総合職業技術校
12日	ソフトボール大会
16日	法制委員会 ツーバイフォー勉強会 会場:神事協会議室
17日	構造専門委員会
22日	工事監理ガイドライン講習会(1) 会場:神事協会議室
23日	建築物耐震改修評価特別委員会
24日	正副会長会 統括委員長会
25日	新規開設建築士事務所講習会 会場:神事協会議室 JW-CAD講習会(木造編) 会場:東部総合職業技術校 建築物耐震改修評価特別委員会
29日	マンション等の大規模修繕業務専門委員会
30日	建築物耐震改修評価特別委員会

編集 後記	ようやく秋らしくなり、お彼岸に久しぶりで「おはぎ」をおいしく頂きました。
	家々によって好みのおふくろの味がありそうです 仕事の方は「棚から牡丹餅」というわけにはいかない ようで、作業を通じて建築活動を発信する日々です。幸い スキルアップ等の情報は事務所協会からも得られます。 さまざまな情報の中で、仕事の方の味付けはそれぞれのお好みで。 (平塚支部 新倉 良一)

かながわ 平成25年10月号 (通号384号)

発行 平成25年10月1日 (毎月1日発行)
発行人 小林 忠志
発行所 一般社団法人 神奈川県建築士事務所協会
〒231-0032 横浜市中区不老町3-12
第3不二ビル2F
TEL. 045-228-0755
FAX. 045-212-3807
印刷所 株式会社 柏苑社

：担 当 副 会 長 芝 京子
：広 報 情 報 委 員 長 白 川 正孝
：広 報 情 報 副 委 員 長 宮 寺 透雄
：広 報 情 報 委 員 森 雄治 小泉 厚
： 棚 橋 由佳 恩田 耕爾
： 坪 井 教一 新倉 良一
： 坂 本 歩美 杉本 勝郎